

(審議事項)

前回小委員会における主な意見

前回小委員会における主な意見

前回小委員会(R1.10)における主な意見

<定期点検の更なる効率化・合理化に向けた取組について>

- 様々な技術を定期点検に使っていく姿勢を示すことが大事。
- フィールド検証や技術カタログの取組を継続していくことが必要。
- 新しい技術はどんどん使っていくべき。
- ドローンのような画像計測技術とモニタリングのような変状の時間変化を捉えるような技術はすみ分けて考えた方がよい。

<点検技術者の質の確保について>

- 点検の質を高めるためには資格制度が必要。他分野には資格制度の実施機関があり、道路でも点検に特化した法人が必要ではないか。
- 点検の質を確保するため、道路構造物に特化した資格を検討すべき。
- 重要な構造物はレベルの高い技術者が点検し、小規模なものは一般レベルの技術者が点検するといった、メリハリを付けた点検があってもよい。

<新材料・新工法の導入について>

- 新材料・新工法の導入のための技術基準や技術検証の仕組みづくりは良い取組なので、推進してほしい。
- 国として道路橋示方書のあり方を厳守する姿勢は当然だが、ややもすれば新技術導入の障壁にもなっている。メンテナンスに関してはもう少し柔軟な方法をとってもよいのではないか。

<維持管理・アセットマネジメントのためのデータの活用・整備について>

- 補修設計に必要なデータから維持管理のデータベースに必要な項目を考えるべき。
- 修繕費用の実績とLCCを比較できるようなデータベースとなるとよりよい管理につながる。
- 費用の実績を残すためにはインフラのナンバリングが必要。

本日の小委員会での審議・報告事項

- 公募した技術の検証結果、カタログ掲載の報告、定期点検参考資料の審議
- 点検支援新技術のレベル分けの審議

- 3巡目点検の方向性と点検技術者(知識と技能を有する者)の検討の状況(資格制度)等の報告

- 横断歩道橋におけるケーススタディ(性能の確認手法、技術公募、審査)の報告
- 新技術の活用に向けた技術基準類の検討・技術の検証の仕組み等の報告

- トンネルにおける維持管理に必要なデータ項目、データベースの構築、収集体制等の報告